第 21 回

どうぶつとの暮らしを考えるフォーラム

日程 2019 年 9 月 29 日（日）

会場 ホテルニューオータニ東京
（東京都千代田区紀尾井町）

受付 ザ・メイン 宴会場階〈鶴の間〉ロビー

事前登録お申込み

・登録料金を郵便局の指定口座へお振込みいただき，同時に以下の［申込み欄］に登録内容をご記入の上，FAX にて事務局までご返送ください．

FAX 送付先　03-3355-6787

・お申込みはインターネットでも受付けております．クレジットカードでの決済をご希望の方は，インターネットから登録してください．

http://www.jbvp.org

・［申込み欄］と郵便局の「払込用紙」には同一名義で氏名とフリガナを忘れずにご記入ください．（当日は登録者の「氏名」で受付を行います）

振込先　郵便局　00190-2-595731
口座名義　一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム

登録料金

9 月 29 日（日）　1 日券 3,000 円　テキスト代含む

入金を確認した段階で，事前登録の手続き完了となります．

・登録手続きの完了後，入場に必要な PASS を郵送します．
（9 月中旬発送の予定）
・当日は PASS と封筒を持って会場受付までお越しください．
・事前登録手続き完了後のキャンセル（返金）は基本的にできません．
あらかじめご了承ください．

事前登録締切り

2019 年 9 月 13 日（金）

記入日	2019 年　　月　　日

一般用 事前登録 申込み欄　参加日：9 月 29 日（日）

申込者（払込人）氏名	フリガナ	年齢	才
		性別	□ 男性　□ 女性
職業		連絡先	□ 自宅　□ 勤務先
E-mail			
TEL	（　　）	FAX	（　　）
連絡先ご住所	郵便番号　　－		
振込日	2019 年　　月　　日	振込金額	円

※ご記入の個人情報は，JBVP の運営と JBVP に関連するご案内のためのみに利用し，他の目的で利用することは一切ございません．

皆さま今年のどうぶつとの暮らしを考えるフォーラムは，FASAVA-TOKYO 2019 スペシャル 市民特別プログラムとしての 210 分！ 一般の皆さま，獣医師，動物看護師，トリマーの皆さまが一同に集える講演をご用意しております．
「伴侶動物医療の未来のために」伴侶動物医療関係者も動物のご家族も一歩先の知識と認識を身に付け，これからの地球環境，医療の環境をサキドリしていきましょう！

・これからの医療「AI」が介入する新しい可能性とは？
・ワンヘルス（One Health）–WHO の提唱するこのスローガンが意味する事は？

理解を深め，よりよい環境で伴侶動物との暮らしを充実させるために明日からのアクションにつなげましょう！

市民プログラム 01

9 月 29 日（日）13：30-14：40　宴会場階〈シリウス〉

「人工知能（AI）による犬猫の健康相談アプリ」

講師：石田 卓夫先生 / 一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム 会長，赤坂動物病院（東京都）
小澤 一世先生 / 日本アイ・ビー・エム 株式会社
司会：西野 七海さん
プログラム提供：PAIR 株式会社

石田 卓夫 先生

小澤 一世 先生

うちの子の健康管理にお悩みのご家族はことのほか多いのではないでしょうか？そんなご家族の不安を解消する一助になることを目的に，PAIR 株式会社が共立製薬株式会社と日本 IBM 株式会社と共同で開発し，2019 年 1 月下旬より正式運用開始となったチャット形式による健康相談アプリケーションプログラム「AI Dr. ホームズうちの子健康相談アプリ」の機能と，動物病院を受診するにあたっての受診予備チェックの内容を，JBVP 会長の石田卓夫先生がわかりやすく紹介します．
当日ご参加のご家族皆様にノベルティをプレゼントいたします！

市民プログラム 02

9 月 29 日（日）15：00-17：40　宴会場階〈シリウス〉

「伴侶動物と幸せな未来を築くために！
–Human Animal Bond ＆ One Health–」

講師：高橋 孝先生 / 北里生命科学研究所 感染制御科学府　教授
茂木 朋貴先生 / 東京大学 内科系診療科　獣医学博士
柴内 裕子先生 / 獣医師，赤坂動物病院（東京都）総院長
公益社団法人 日本動物病院協会　相談役
シンポジスト：栗田 吾郎先生 / 獣医師，栗田動物病院（茨城県）
齊藤 邦史先生 / 獣医師，斉藤動物病院（神奈川県）
コーディネーター：柴内 晶子先生 / 獣医師，JBVP 幹事 市民担当

髙橋 孝 先生

茂木 朋貴 先生

柴内 裕子 先生

栗田 吾郎 先生

齊藤 邦史 先生

柴内 晶子 先生

人と動物の共通感染症は，動物から人へ，人から動物へ伝播する感染症でありますが，全ての感染症のうち約半数を占めると推定されています．医師及び獣医師は臨床現場で，また動物のご家族は家庭で，人と動物の共通感染症に接触するリスクを有しています．
こうした分野横断的な問題に対し，人，動物，環境衛生に関わる者が連携して取り組む One Health（ワンヘルス）という考え方が重要であるとの認識が世界的に高まっています．今回は知識・問題意識の共有，予防・探知・治療等の問題に対しての対策強化を図るためにどのように向かい合っていかなけれないけないのかを動物のご家族である皆さんと一緒に考えていきたいと思います．

・アンチバイオグラム
・One Health（ワンヘルス）
・ズーノーシス
・耐性菌
・Human Animal Bond（人と動物の絆）
・EBM
・MRSA

今の時代を生き抜くために知っておきたい知識の理解が深まります．シンポジウム形式で，会場の皆さまのご意見も頂きます．皆さまのご来場をお待ちしております．

お問合せ先

日本臨床獣医学フォーラム年次大会事務局

TEL　03-3355-3979 / FAX　03-3355-6787
URL　http://www.jbvp.org　　E-mail　info@jbvp.org
〒 151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-5　ミサワビル 2 階

会場への一般の伴侶動物を伴っての入場はお断りいたします

事前登録や最新情報はウェブサイトから
http://www.jbvp.org/2019